



# 欧州ラドン療法研究会 バードガシュタインレポート

2021年11月 3~7日・オーストリア渡航報告  
「大学病院・リハビリ病院等を訪問して来ました」



## ザルツブルグ・パラケラスス医科大学

オーストリアのインスブルック大学により本格的なラドンによる治療効果の研究発表がされたのは1936年でした。しかし、残念なことに現在、インスブルック大学ではこれらの研究を継承する研究者を確保する事ができませんでした。そこでこれらの研究を引き継いだのがザルツブルグ市内にあるパラケラスス医科大学です。今回、この大学の研究室を訪問してきました。彼らの研究室にはラドン計測機はもちろん、ラドン環境下で行える細胞培養器や、サザン・ノーザン法を効率的に進められる高速オートシーケンサーの設置(もちろんウエスタンも)など、日常的にラドンの生体影響を分子レベルで研究できる条件が揃っていました。また、最近のトピックとしてラドンによる生体膜の変化の研究がありました。これは、ラドンによる細胞刺激が生体膜を直接刺激しているのか、アポトーシス誘導によって刺激されているかを調べる実験です。私事ですが、大学院修士論文のテーマが全く同じ様なものだったので、研究室でも興奮の中で説明を受けて参りました。将来的なラドン研究分野の確保のためにも学術提携の重要性を確認し、広く情報交換できる様、提携関係を結んで来ました。



## バードガシュタイン・ 州立リハビリ専科病院

ラドン坑道浴による痛みや関節障害などへの治療効果は広く知られています。しかし、ラドン浴の効果を最大限に引き出すためには、やはり理学療法や電気治療、運動療法などの物理的な治療の組み合わせによって得られる事もまた事実です。これらの治療は場所や時間を必要としますし、短期集中的に行われる事が治療効果を高める要素でも有ります。そのため、この病院では190床を超える個室を完備しており、各分野の専門家によってリハビリのプログラムが進められています。また、スタッフが日頃の介助や緊急時に速やか



に対応できる様、看護師や理学療法士が施設近隣に待機できる宿泊施設が設けられているなど、対応は万全です。将来的には当研究会の研修会や臨床研究への指導を含めた活動など、様々な企画を提案したところ、快く受け入れて頂きました。

## バードガシュタイン・ハイルシュトールン坑道浴病院



ハイルシュトールン坑道浴病院(日本での通称はバードガシュタインですが、これは村の名前なので、現地では病院施設の名前とは認知されません)では、来年で70周年の節目の年を迎えます。私は2012年よりハイルシュトールンを中心にドイツ語圏で展開されるラドン温泉療法病院や他の自然療法を提供する病院を訪問するツアーの企画を続けてきました。そして、今回の訪問で漸く信頼し得る団体であると認識頂くことができました。その証に、来年の70周年の記念式典共催の提案を頂きました。この式典は、より多くの方に、より多く情報を提供し、広くラドン療法の効果や安全性を啓蒙していく為のザルツブルグ州の公式企画です。大変光栄な事だと思います。日本にも多くのラドン温泉が在ります。これらをもっと活用していく方法を提案してく上で、意義ある参加の機会と承知しております。コロナ禍での渡航には様々な条件が課せられますが、是非この機会に、多くの方にもご参列頂きたいと考えております。



## 追記



訪問時のバードガシュタインはこの時期としてはまだ早い吹雪でした。翌日には快晴となり、無事全行程を終えることができましたが、この時期になると朝晩は氷点下前後まで下がります。この事でバードガシュタインへの訪問は冬季にすべきでない事が再確認できました。

- 補足1 パラケラスス医科大学で日本・オーストリア交換研究事業への応募を提案されました
- 補足2 ハイルシュトールンの鉱石購入に関する正規代理店としての確認を済ませました
- 補足3 来年のバードガシュタイン訪問は4月を予定しております
- 補足4 渡航前2~3月頃を目処に、関係大学・病院とウェブ会議を予定しております